

国立大学法人岡山大学長の業務執行状況の確認について

国立大学法人岡山大学学長選考・監察会議は、国立大学法人岡山大学学長選考・会議規則第3条の2の規定に基づき、令和6年度における那須保友学長の業務執行状況を確認したので、その結果を公表する。

1 確認の経過

- (1) 第6回学長選考・監察会議（令和7年3月26日開催）において、令和6年度学長の業務執行状況の確認の日程について決定した。
- (2) 第7回学長選考・監察会議（令和7年6月19日開催）において、次の資料及び学長へのヒアリング、監事からの意見聴取に基づき確認を行った。
 - ・令和6年度学長業務執行状況報告書
 - ・令和6年度学長業務執行状況報告プレゼンテーション資料

2 学長選考・監察会議構成員（各五十音順）

経営協議会学外委員

塚 本 泰 司
中 島 義 雄
細 羽 紀 子
松 田 正 己
水 田 美 由 紀

教育研究評議会評議員

高 瀬 淳
成 瀬 恵 治
西 田 陽 介
三 村 由 香 里
森 也 寸 志

3 令和6年度学長業務執行状況の確認結果

以下のことから、学長選考・監察会議は、学長の業務執行状況は適正であることを確認した。

【社会との共創】

- ・外部資金の獲得額は45,848千円であり、年度目標の29,000千円を達成している。
- ・国際的にインパクトのある成果として、①国連の「開発のための科学技術委員会（CSTD）」年次会合において決議文書に本学の名前と取組が掲載されたこと、②本学ユネスコチェアが「ユネスコ本部と協働構築する20の世界機関」の1つに選ばれたことの2件が、年度目標の1件を達成している。

【教育】

- ・外部評価委員会の「教育に関する目標を達成するための措置」に関する外部評価報告書において、「総論として、教育改革が前向きに進んでいる状況を高く評価したい。」と評価されている。
- ・受講者が減少していた講座をリニューアルするなど、リカレント教育の充実に努めたことにより、延べ履修者数は101人増となり、年度目標の100人増を達成している。
- ・SDGs 国際教育プログラムを推進したことにより、履修している留学生数は43人と

なり、年度目標の 20 人を達成している。

【研究】

- ・ 5 年間の累計で比較する TOP10%論文数増加率（平成 29～令和 3 年度累計と令和 2～6 年度累計の比較）は年度目標の 104%を達成していないが、単年度で見ると令和 6 年度の実績値（233 報）は令和 5 年度（174 報）比 32%増であり、このまま推移すると中期計画に定められた評価指標を達成できる見込みである。
- ・ 5 年間の累計で比較する国際共著数増加率（平成 29～令和 3 年度累計と令和 2～6 年度累計の比較）は 109%（699 件）であり、年度目標の 106%を達成している。
- ・ 民間企業等との共同研究による外部資金獲得額は、令和 3 年度比 119.5%（633,829 千円）であり、年度目標の 115%を達成している。
- ・ JST の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」及び「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業」に採択され、令和 6 年度より博士後期学生への経済的支援を強化した結果、生活費相当額受給率が 68%となり、年度目標の 65%を達成している。
- ・ 若手研究者の論文数増加率は令和 3 年度比 131%（749 件）であり、年度目標の 120%を達成している。

【大学病院経営】

- ・ 新規企業治験、特定臨床研究として行う臨床研究の合計件数は 99 件であり、年度目標の 63 件を大きく上回っている。
- ・ CMA-Okayama を中心とする医療連携ネットワークにおける人材育成を進め、CMA 治験ネットワークの連携基盤を活かし、DCT（分散型臨床試験）の推進に向けた取り組みを実施している。
- ・ 新たに「非認知能力」に関するプログラムを開発した。これにより多様な医療人を対象としたデジタル等の活用による医療教育プログラムを 7 件提供しており、年度目標の 7 件を達成している。

【業務運営】

- ・ 役員10名のうち女性を 3 名登用しており、年度目標の女性役員比率（30%）を達成している。
- ・ キャンパス全体の「イノベーション・コモンズ（共創拠点）」化の整備として、津島地区の総合研究棟（法・経済学系）の改修、共創イノベーションラボ棟の新設、牛窓地区の実習棟（生物学系）の改修の 3 か所を整備した。これにより、年度目標の 3 か所を達成している。
- ・ 研究機器の学外利用料獲得額について、クライオ電子顕微鏡に加え、新規に学外利用を開始した装置の増加により、獲得額増加率が551%（12,474千円）となり、年度目標の180%を達成している。
- ・ 学内の戦略的経費のうち先行投資対象の占めるシェアの伸び率（令和 3 年度比）は 108%であり、年度目標の50%を達成している。
- ・ 外部資金収入伸率（令和 3 年度比）は7.7%となり年度目標の20%を達成できていないが、組織再編や人事制度の大胆な改革など抜本的な改善に取り組んでいる。

以 上